しぶや区議会だより
No.301
第４回定例会号
新年合併号
令和５年（2023年）
１月６日発行

主な内容

本会議の経過・議案等の概要と結果 … ２面
一般質問（代表・個人）［要旨］ … ３～６面
委員会の活動状況 …………………… ７面
新春を迎えての各会派の抱負 ……… ８面

発行／渋谷区議会　〒150-8010 渋谷区宇田川町１番１号　☎03（3463）1096
渋谷区議会ホームページ
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/

渋谷区役所から望む富士山

議長
斎藤　竜一

副議長
薬丸　義人

誰もが充実した日々を暮らせる街・渋谷を目指して

あけましておめでとうございます

区民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から区政と区議会の活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症は猛威を振るい、大きな波となって、これまでにない新規感染者を発生させることとなりました。渋谷区では、そのような状況下ではありましたが、この間培われた経験と新型コロナウイルス感染防止対策の徹底により、少しずつではありますが、各団体の活動やイベント等も開催されるようになり、区民の皆様が待ち望んでいた活気を取り戻しております。秋晴れの10月、11月には、運動会や各種競技会、シニアクラブのご活動や日頃の練習成果を発表する文化祭等、それぞれが感染対策に加えて時間短縮、人と人の間隔をあけるなど工夫を凝らした方法で開催しておられ、改めて区民の皆様と直接触れ合うことの大切さを実感する貴重な機会となりました。

５月には、渋谷区「新しい学校づくり」整備方針として、区内の学校施設の未来像と建て替えロードマップの策定・公表がありました。子どもたち一人ひとりが、地域や社会の人との交流や協働の中で、社会の課題と向き合いながら、探究的な学びを実践できる「学校づくり」を目指し、地域の誰からも愛され親しみを持っていただける学校となるよう願っています。

渋谷区議会は区民の皆様が「住み慣れた地域で、安全で安心して充実した日々を暮らせる街・渋谷」を創り上げていくことこそが我々の使命と考え、これからも議員一同全力で活動してまいります。

本年が区民の皆様にとりまして、より良い「ブラボー」な年でありますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

総務委員会委員長	斉藤貴之
区民環境委員会委員長	田中匠身
文教委員会委員長	一柳直宏
福祉保健委員会委員長	沢島英隆
議会運営委員会委員長	丸山高司
自治権確立特別委員会委員長	五十嵐千代子
交通・公有地問題特別委員会委員長	木村正義
多様性社会推進特別委員会委員長	近藤順子
官民連携事業調査特別委員会委員長	下嶋倫朗

渋谷区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例、令和４年度渋谷区一般会計補正予算などを可決

令和４年第４回定例会は、11月22日から12月７日までの16日間の会期で開かれました。11月22日から３日間の本会議では初日に２人の議員が、２日目には３人の議員がそれぞれ代表として一般質問を行い、３日目には７人の議員が個人として一般質問を行いました。

11月25日の本会議では、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例５件を原案のとおり可決しました。

12月７日の本会議では、渋谷区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例など条例７件、補正予算２件、渋谷区立二の平渋谷荘の指定管理者の指定についてなど指定管理者の指定２件、契約４件を原案のとおり可決しました。また、専決処分の報告１件を聴取し、請願１件を不採択としました。

令和４年　第４回定例会／議案等の概要と結果

件名	概要	自由民主党	シブヤ笑顔	公明党	日本共産党	立憲民主党	れいわ渋谷	その他（議席番号順）無所属	その他（議席番号順）無所属	結果（○賛成 ×反対 △退席 —欠席）
渋谷区個人情報の保護に関する法律施行条例（制定）	1　渋谷区個人情報の保護に関する法律施行条例の制定 2　関係条例（渋谷区個人情報保護条例）の廃止	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区千駄ヶ谷区民施設条例（制定）	1　千駄ヶ谷区民施設の設置 （位置　渋谷区神宮前一丁目１番10号） 2　関係条例（渋谷区区民会館条例）の改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	1　対象年齢の引上げ 2　その他規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区自転車等の放置防止等に関する条例の一部を改正する条例	自転車等の撤去に要した費用として徴収する額の改定	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
渋谷区清掃及びリサイクルに関する条例の一部を改正する条例	廃棄物処理手数料及び動物死体処理手数料の額の改定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和４年度渋谷区一般会計補正予算（第５号）	補正金額　507,554千円 債務負担行為の補正	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
渋谷区立二の平渋谷荘の指定管理者の指定について	1　管理を行わせる施設の名称 渋谷区立二の平渋谷荘 2　指定管理者となる団体の名称 富士屋ホテル株式会社・株式会社渋谷サービス公社共同事業体 3　指定の期間 令和５年４月１日から令和５年６月30日まで	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区スポーツ施設の指定管理者の指定について	1　管理を行わせる施設の名称 渋谷区スポーツセンター等 2　指定管理者となる団体の名称 ちがいをちからに共同事業体 3　指定の期間 令和５年４月１日から令和10年３月31日まで	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
渋谷区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	期末手当の支給月数の改定等	○	○	○/—	×	○	×	○	○	可決
渋谷区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	期末手当の支給月数の改定等	○	○	○/—	×	○	×	○	○	可決
渋谷区教育委員会教育長の給与、旅費及び勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	期末手当の支給月数の改定等	○	○	○/—	×	○	×	○	△	可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	給料表の改定等	○	○	○/—	○	○	○	○	○	可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	期末手当に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員等に係る退職手当支給要件の一部緩和等	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	給料表の改定等	○	○	○/—	○	○	○	○	○	可決
渋谷本町学園第二グラウンド複合施設（仮称）建設建築工事請負契約	契約金額　2,629,000,000円 契約の相手方　フジタ・荒井建設共同企業体 工期　契約の日から令和７年３月14日まで	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
渋谷本町学園第二グラウンド複合施設（仮称）建設電気設備工事請負契約	契約金額　399,553,000円 契約の相手方　あきら・由井建設共同企業体 工期　契約の日から令和７年３月14日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷本町学園第二グラウンド複合施設（仮称）建設空気調和設備工事請負契約	契約金額　258,500,000円 契約の相手方　川崎設備工業株式会社　東部支社 工期　契約の日から令和７年３月14日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷本町学園第二グラウンド複合施設（仮称）建設給排水衛生設備工事請負契約	契約金額　183,700,000円 契約の相手方　株式会社協和日成　渋谷支店 工期　契約の日から令和７年３月14日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度渋谷区一般会計補正予算（第６号）	補正金額　360,127千円	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
国民健康保険料を引き上げないことを求める請願		×	×	×	○	○	○	×	×	不採択

件名	概要
専決処分の報告について	損害賠償請求事件に係る和解に伴う専決処分

会派等一覧
令和４年12月１日現在（◎幹事長／○副幹事長）

渋谷区議会自由民主党議員団（９人） TEL 03-3463-1034
◎丸山高司　○一柳直宏　松本翔　斉藤貴之　岡美千瑠　中村豪志　斎藤竜一　下嶋倫朗　木村正義

シブヤを笑顔にする会（８人） TEL 03-3463-1046
◎岡田麻理　○橋本侑樹　森田由紀　神薗麻智子　田中匠身　薬丸義人　佐藤真理　伊藤毅志

渋谷区議会公明党（５人） TEL 03-3463-1036
◎久永薫　○栗谷順彦　近藤順子　松山克幸　沢島英隆

日本共産党渋谷区議会議員団（４人） TEL 03-3463-1038
◎田中正也　○苫孝二　○牛尾真己　五十嵐千代子

立憲民主党渋谷（３人） TEL 03-3463-1042
◎治田学　○吉田佳代子　○小田浩美

れいわ渋谷（２人） TEL 03-3463-1082
◎堀切稔仁　○金子快之

無所属（議席番号順）
鈴木建邦　TEL 03-3463-1026
須田賢　TEL 03-3463-1060

一般質問(代表)

行財政運営・防災等８点について伺う

自由民主党
下嶋　倫朗　議員

行財政運営について

問 ①令和5年度予算に対する、区長の考え方や意気込みを伺う。②合理的根拠に基づき、より実効性の高い政策を立案するEBPMにより、本年度、どのように事業分析・評価を実施し、その成果を予算編成にいかしているのか。

区長 ①歳入ではふるさと納税による影響を多角的な視点から検証し、歳出では「ひとづくり」「まちづくり」など未来への投資に力を入れ、「Withコロナ」に向け新たな段階への移行を考えている。②今年度は予算編成のプロセスでEBPMの手法を取り入れ、対応する課題抽出、重点的に検討する事業選定を行い、事業内容が目的を達成するのにも効果的、効率的となるよう検討、この事業分析等を来年度予算編成にいかしている。

防災について

問 ①「タワマン防災」「集合住宅防災」にフォーカスした取組を急ぐ必要があると思うが、区長の所見を。②来年度以降「防災キャラバン」をどう実施し、また課題は。③「もしもフェス渋谷2022」を単なるイベントに終わらせず、ブラッシュアップすべきと思うが、今回の経験をどう評価し、来年度以降の展開は。

区長 ①来年度はマンション防災についての対策マニュアルを作成し、より一層の備蓄等啓発周知を図る。②備蓄の推進や地域訓練への参加など、実際の行動につなげることが課題で、来年度は未開催6地区での開催を中心に検討。③まだまだ防災対策の発信が十分とは言えない部分もあったが、来年度以降もコンテンツの充実に向けた支援を継続。

安全・安心のまちづくりについて

問 都の補助が望めない状況下、今回程度のハロウィーン対策の継続はやむを得ないが、他方、財政負担の削減努力は必要と考える。区長の所見を。

区長 引き続き、これまで培った経験やノウハウをいかし、効率的・効果的な警備の実施など区民負担軽減に不断の努力を重ね、渋谷駅周辺地域の安全・安心の確保に取り組む。

子育てについて

問 区は、産後パパ育休を更に率先垂範して、働き方改革を進める必要があると考えるが、区長の見解は。

区長 次世代育成支援を推進し、フレックスタイム制の導入を検討するなど、勤務環境を整えることで、本区が社会の模範となるよう努める。

◁玉川上水笹塚地区開渠部分緑道

ササハタハツについて

問 ①笹塚地区の開渠緑道部分の整備は都と連携してどう整備するのか。②笹塚高架下周辺の再整備では、駅周辺の更なるにぎわいの連続化実現に向け、京王電鉄の協力を得ながら行うべきと考えるが、区長の所見を。また、広場や歩道状空地、ササハタハツの活動拠点は整備後、どのように管理、運営していく所存か。③水道道路沿道のまちづくりでは、地域の方々と意見集約を図り、検討を進め、都との協議を進めていただけないか。

区長 ①玉川上水の面影を残す地域資源として、環境の保全を強く働きかける。②より快適な回遊性やにぎわいの連続性等の観点から重要な空間と考え、今後、関係事業者等と連携しながら、実現に向け働きかけを行う。オープンスペースは適正利用のルール化を含めた検討が事業者により進められている。ササハタハツの活動拠点は官民連携による「ササハタハツまちラボ」が軸となった管理運営など都市機能を確保する。③地域の方々の声を踏まえた将来像の共有とその実現に向けた多様な関係者との協働が重要と考え、都に対して連携を働きかけながら急ぎ検討を進める。

区立公園について

問 美竹公園について、利用禁止の目的と経緯、今後の対応について区長の所見を伺う。

区長 「都市再生ステップアップ・プロジェクト（渋谷地区）渋谷一丁目地区共同開発事業」の準備工事のため公園の利用を禁止とし、先月仮囲いを設置。区では、引き続き福祉的アプローチを行いながら、工事に着手できる環境を整えるための準備を進める。

高齢者福祉について

問 実証事業期間終了後、デジタルデバイド解消施策の方向性について区長の所見を。

区長 スマートフォン貸与事業終了後、返却時に新端末へのデータ移行や必要なアプリの設定などきめ細かに支援し、デジタル活用支援員の派遣先拡大など、得られた成果を更なる施策の展開につなげる。

教育について

問 ①デジタル教育先進区として、デジタル教科書や端末機器利用の利点及び懸念点と、その経験値からどのようにデジタル教育を進めていくのか伺う。②各校の特色ある学校づくりが更に活性化し、保護者や地域に対しても魅力ある学校として可視化されていくべきで、具体的な支援と取組が必要では。③今後、新校舎で小中一貫教育校となる予定である3校の計画をスムーズに進めていくためには、今の段階から関係校の保護者や地域の方々に、理解と共感を得ていくことが重要と考えるが、教育長の所見を伺う。

教育長 ①区としては算数において成果が見られるなど、本格導入を迎える心配事は減少しているが、デジタルデバイスにより想定される健康面の影響が課題として挙げられる。今後は、学習者主体の学びを推進することで、デジタル社会を生き抜くために必要な力を育成していく。②広報紙やホームページ等を活用して積極的に発信するなど、学校が創意工夫を重ねる中で、特色をいかして魅力ある教育活動を創造していくことができるよう支援する。③渋谷本町学園における10年間の実績や成果を関係校の保護者や地域の方々にもお示し、理解と共感を得られるよう努める。

財政、子育て、まちづくり、産業振興、教育等６点を伺う

シブヤ笑顔
田中　匠身　議員

持続可能な発展と財政運営

問 ①学校、一般建物施設等の各長寿命化計画や他の再整備計画の部署間連携を。②都市整備基金の運用方針は。

区長 ①庁内横断的プロジェクトチームにより迅速に連携。②決算剰余金を補正予算財源とするとともに基金へ積立て。歳入状況等を踏まえ、長寿命化計画推進に効果的に活用。

子育てや社会的弱者に優しいまちづくりについて

問 ①保育園入園オンライン申請の利用状況は。②保育所選択のための情報と機能の充実は。③発達支援のため保護者同士やサポーターによるリアルのワークショップを。④子育てネウボラで発達に関する気軽な相談と就学前後の切れ目ない支援実現を。⑤地域にアウトリーチの担い手創出のためお手伝いボランティア活動を募集し、費用助成含め継続的支援の枠組み構築を。

区長 ①入園申込みの2割強。②検討を進める。③実施に向け検討。④就学前後の切れ目ない支援に向け、園の保育士や教員から発達支援コーディネーターを育成し、就学支援シートも活用促進。⑤地域における担い手増に努め、費用助成は検討する。

安全・安心なまちづくり

問 ①既存の制度では対応困難な危険なブロック塀について新たな施策と、助成期間の延伸や対象の見直しを。②ハロウィーンのふん尿対策、マナー啓発のSNS発信、清掃ボランティアへの支援拡充を。

区長 ①対応方法を検討。費用負担を減らせるよう継続支援を検討。②排せつに限らず多角的に対策強化。SNS発信も含めマナー啓発に努め、ボランティア支援は研究する。

区民生活に最適化したまちづくり

◁水道道路を使ったマイルレース「北渋Ｒｕｎ Ｒｕｎフェスタ」初開催

問 ①初開催した「北渋Ｒｕｎ Ｒｕｎフェスタ」の今後は。②市民共創のまちづくりに専門的・長期的な若手職員育成を。③駒テラス西参道に障がい者も楽しめる設備を。④民間への情報バリアフリーツール普及促進と包括的なバリアフリー推進及び助成メニュー等の多角化を。

区長 ①沿道での関連イベント拡大や笹塚エリアの企画を検討。②地域とのつながりを継承し人財育成。③障がい者用将棋盤・駒を配備。その他は日本将棋連盟と協議。④具体的施策やメニューの多角化を検討。部署間連携も高める。

産業振興について

問 ①ハチペイの地域限定ポイント発行を。「ハチポ」活用法は。②スタートアップ支援でアクセラレーターをどういかすか。規制緩和のために区が起こせるアクションは。

区長 ①各商店会実施イベントでの使用検討。「ハチポ」

は事例紹介交え周知。②国際レベルの成長を支援し経済的持続性も担保したインパクトスタートアップへ。渋谷ならではの分野で特区申請し提案。

教育について

問　①学校の電話回線増やマイボトル用ウォーターサーバー設置を。②教職員のメンタルヘルス対策を。③知的障がい児童が通常学級で学ぶ機会の拡大を。④学校運営協議会委員に先進事例視察と映画「みんなの学校」の上映・講演・意見交換会実施を。

教育長　①検討。②研修、セミナー、講座実施。スクールカウンセラーが教職員の相談にも応じる。③保護者の意向を最大限尊重し、介助員等の人的支援も実施。④各校議論の上、選択するのが望ましい。

防災、街の安全・安心について等９点を伺う

公　明　党
近藤　順子　議員

防災について

問　①戸の開閉が困難な防災備蓄倉庫があるので改善を。②昨年９月定例会で提案した避難行動要支援対策の進捗は。

区長　①早急に確認して改善を行う。②名簿配布や避難支援プランの改正に加え、机上避難訓練も実現に向け検討。

街の安全・安心について

問　①今年のハロウィーンの実態を踏まえ年末カウントダウンに対する区の姿勢は。②耐震診断及び耐震改修助成制度の対象拡大を。ブロック塀等耐震化支援事業の創設を。

区長　①カウントダウンは中止だが、来街者増加を予想。人流確保に注力し、安全確保に取り組む。②国や都の補助金を注視。所有者負担を減らせるような継続的支援を検討。

区民サービスについて

問　①区民施設等のポケットWi－Fi環境の拡充を。②ハッピーマザー出産助成金の増額を。③旧渋谷図書館跡地の検討は、小学校の建て替えと一体的な計画で進めては。

区長　①ニーズのある区民施設等へ拡充を進める。②効果を見極めた上、適正化を進める。③有効活用を建て替え時期にかかわらず先行して検討。

▷区民施設等へのWi－Fi環境の整備

環境政策について

問　①環境配慮行動をポイント化し「ハチポ」に紐づけを。②区内の小学生が応募するリサイクル標語の広報拡充を。

区長　①環境施策への活用を検討。②具体的な取組を検討。

福祉について

問　①地域包括支援センター事業の地域への案内の進捗は。「認知症何でも相談（窓口）」と分かりやすく明示しては。ホームページ上に認知症サイトの構築を。認知症の理解に映画の上映会開催を。②介護予防・フレイル予防に、トレーニング成果の見える工夫を。③デジタル活用支援員を派遣できる対象の拡大を。④福祉理美容券の助成拡充を。

区長　①相談件数は増加、周知活動の成果が表れている。表示物は地域に伝わる方法を検討。アクセスしやすいページ構成など、見直しを検討。映画上映など理解を深めてもらう企画を検討。②デジタル技術の活用を含め効果的な方法を検討。③少人数グループを組めば申込みができる。④今後の課題とする。

重層的支援体制整備事業について

問　①ヤングケアラーについて、民生委員・児童委員対象の研修等の進捗は。教員研修会等での映画紹介の進捗は。支援関係者向け研修会の実施やヤングケアラーに気づくためのチェックシートの活用を。区民向けに映画上映を。②区独自の家事・介護ヘルパー派遣の導入を。地域包括支援センターに属性を問わない・断らない相談支援体制の構築を。③職員研修や、他所管と連携しやすい職場環境の整備を。

区長　①本年６月、委員配布のタブレットに動画を配信。シートは有効、積極的に活用。区民向け映画上映は、今後の検討課題。②区独自ヘルパー派遣の導入は考えていない。段階的な機能強化に向け検討。③研修でスキルアップを図り、職員間のコミュニケーションを活性化させ、連携しやすい職場環境の整備に努める。

教育長　①映画は１月の生活指導主任研修会で視聴を計画。

投票に支援が必要な方への配慮について

問　①投票日の担当職員向け「障がい者に対する投票支援マニュアル」の作成を。②知的障害者の方に動画を活用した体験投票の実施を。③ホームページ・区ニュースで図式説明や動画による情報掲載を。

区長　①選挙管理委員会に相談していく。②各種出前講座などを行っているため相談を。③丁寧な情報発信に努める。

教育について

問　がん教育について、全校で医師やがん経験者など外部講師を活用した授業の実施を。

教育長　外部講師活用を継続的に行う仕組み構築に努める。

健康について

問　①ＨＰＶワクチンの定期接種、接種機会を逃がした方に特例を行うキャッチアップ接種の進捗は。②区の健康診査に骨粗しょう症検診導入を。③がん対策推進計画は更に充実すべく改め、教育委員会と連携してがん教育推進を。

区長　①今年４月から９月まで定期接種は延べ５２４人、キャッチアップ接種は延べ４０３人が接種。必要性を周知し勧奨する。②骨粗しょう症検診は導入に向け調整。③より充実させ、次期健康増進計画に盛り込む。がんへの理解は教育委員会と連携し進める。

いのちとくらし最優先の政治姿勢で、福祉、教育の充実を

日本共産党
牛尾　真己　議員

９条改憲と大軍拡について

問　政治家の原点として平和を守ることを据え、９条改憲と軍拡の政治に反対すべき。

区長　そのような考えはない。

物価高騰などから区民のいのちとくらし・営業を守る施策

問　①最低賃金引上げ、消費税減税を国に求めよ。委託業者の賃金引上げを。②住民税均等割世帯に区独自の給付金を。③減収の中小業者に固定費助成、介護事業所等に減収補填を。④プレミアム付商品券発行を。⑤生活保護世帯の夏冬の見舞金復活、住宅扶助は特別基準に引上げよ。⑥学生・若者向け家賃補助を。⑦学校給食無償化を。⑧国民健康保険料を引下げ、国に負担割合引上げを求めよ。⑨コロナ対策は、無料の検査、高齢者施設等の感染防止、隔離施設の確保、保健所体制強化を。

区長　①②⑤～⑧その考えはない。③④ハチペイを活用し支援。⑨都の施策で検査可能。高齢者・障がい者施設の支援体制は整っている。隔離施設も必要数を確保。保健所はこれまでの経験を踏まえ対応。

区長の政治姿勢について

問　①住環境破壊の宮益坂地区再開発推進はやめよ。②美竹公園閉鎖は人権侵害。民間利益優先のステップアップ事業は中止を。③トップダウンをやめ、渋谷図書館の復活を。④学校施設整備は、教育環境の充実を最優先に、子どもや保護者、関係者の意見を十分に聞き、統廃合はせず、小規模校の良さをいかすべき。

区長　①③その考えはない。②福祉的対応もしている。事業中止の考えはない。④発表した計画を進める。

教育について

問　①少人数学級を推進すべき。②本町幼稚園存続を。

▷閉鎖された美竹公園

区長　②閉園予定に変更なし。

教育長　①国及び都の基準で。

介護・高齢者福祉について

問　①第９期計画で保険料などの負担軽減とサービス充実を。②特養ホーム増設を。

区長　①制度の持続可能性を視野に入れた計画を策定。②実情とニーズを分析し検討。

気候危機対策について

問　ゼロカーボン宣言、条例制定、国や都以上の目標を。

区長　宣言は時期尚早。条例制定は考えず、目標は精査中。

公共トイレについて

問　整備は住民合意で進め、廃止した公園トイレの復活を。

区長　インクルーシブ社会の実現を目指すために設置。現時点で再設置の考えはない。

新庁舎、まちづくり等４点について伺う

立憲民主党
吉田　佳代子　議員

新庁舎等について

問　①エレベーターの待ち時間短縮を。②低層階エレベーターとエスカレーターの利用促進を。③多様な乗り物に対応した駐輪場整備を。④区役所前地下駐車場バイク置場の

場所変更を。⑤シビルガーデンに車寄せを。⑥庁舎壁面緑化の現況は。

副区長 ①改善策を研究したい。②来庁者への丁寧なご案内を行う。③今後検討する。④現時点では困難だが、利用者の利便性向上に努める。⑤常時車寄せとしての利用は困難な状況。⑥今後3～4年かけて育成していくと想定。

まちづくりについて

問 ①緑道再整備計画で、現時点での事業計画と資金計画は。遊び場としてまとまったスペース確保を。また、遊具の在り方について再考を。②渋谷区上空での飛行機の脚下げについての考えを伺う。

区長 ①ササハタハツ会議を通じて計画を取りまとめているところ。地域の皆様の声を聞きながら合意形成を進める。②氷塊落下と脚下げの因果関係は、必ずしも解明されていないと国が説明。

▷玉川上水旧水路初台緑道「遊具は無くさないで」

教育について

問 ①保護者への連絡アプリ「ホームアンドスクール」について、学校間格差を無くし、保護者へのアンケートと教員向け研修の実施、機能追加を。②渋谷区いじめ防止等対策推進条例により設置される調査委員会委員選任の中立性は。③不登校児童・生徒の出席扱い要件にオンラインでの面談を認めては。④渋谷図書館の取壊しができないことが分かった時期は。また、図書館を再開してはいかがか。

区長 ②人間関係、利害関係のない者から推薦等で参加を図る。④昨年8月に、擁壁の問題により建物の取壊しには多額の費用がかかることが分かった。再開する考えはない。

教育長 ①マニュアルの充実や研修等により一層の活用を促進し、利便性を高めるための検討と、機能追加は難しいが改善要望は行う。③国の方針に基づき判断するため、要件に加える予定はない。

区役所の在り方について

問 ①区が所有する有料施設を高校生まで無償化に。②公契約条例対象の委託契約について業務範囲の拡大を。

区長 ①現時点では考えていない。②現状直ちに範囲を拡大する考えはない。

一般質問（個人）

田根剛氏の選考、羽田空港都心低空飛行問題等3点を伺う

れいわ渋谷
堀切　稔仁 議員

田根剛氏の疑惑の選考問題

問 ササハタ緑道再整備において㈱ランドスケープデザイン研究所から再委託が行われ、区長は前定例会で田根氏の採用理由は「世界的なアーキテクト」と答弁。申請書記載実績は合弁会社時代と日本の建築プロジェクトのみ。氏がランドスケープデザイナー免許未所持は確認済み。委託契約書に「世界的に著名なランドスケープアーキテクトと密に連携し」とあるが矛盾し1億1千4百万円支出に値しない。広場ですら造れない、遊具すら置かない。再指導をすべき。

区長 歴史、背景、地形などを調査・分析しデザインコンセプトを作り上げる手法や多国籍のスタッフ構成で検討の多様性を期待、受賞歴を評価。遊具、遊び場は今、検討中。

羽田空港都心低空飛行問題

問 騒音や落下物の危険性に区民が納得していない。国に海上ルート使用のみとする等、区長会で決議し抜本的な対応を。大問題なのは2路線も抱え区民負担を強いるのは疑問。

区長 国の責任で引き続き丁寧な説明と情報提供、騒音・安全対策等の強化を求める。区長会でも主張をしていく。

旧統一教会と渋谷区の関係

問 前定例会でハロウィーン翌日の駅前清掃への参加を要請と答弁。参加者は何名か。

区長 参加依頼はしていない。

持続可能なまちづくり、健康課題について伺う

シブヤ笑顔
森田　由紀 議員

持続可能なまちづくりについて

問 ①落書き消去事業は継続が必要では。インクルーシブアート活動の今後の展望は。②緊急時の共助の仕組みとしてペットバディ（相棒）制度の導入を。③就労支援中心のローカルキャリアづくりを。

区長 ①最終年の来年度に事業全体を振り返り、事業の在り方を改めて検討していく。障がいの有無にとらわれない活動の創出に取り組んでいく。②飼い主同士の自発的コミュニティ作りがふさわしく導入は慎重に考える。③商店会など地域のニーズや課題を捉えながら事例を積み重ねていく。

健康課題について

問 ①子宮頸がんワクチン接種の安全性と種類の違いなど詳しい情報提供を。②不妊治療助成制度の情報提供は。

区長 ①タイムリーに情報提供し、検診の重要性など早期発見・治療についても周知する。②治療を行う医療機関にも資料を送付し、連携を予定。

玉川上水緑道整備計画等について伺う

須田　賢 議員

旧玉川上水緑道整備計画

問 ①広場は現状と同等の広さ維持を。②緑道にある遊具はインクルーシブ化を。③スケジュールなど住民へ説明を。

区長 ①具体的検討を進めている。②検討進める。③様々な機会を通しお知らせしたい。

子育て支援について

問 ①学校給食は子育て支援として無償化を。②所得の関係なしに子育て支援の充実を。

区長 ①現時点で無償化する考えはない。②所得制限なしの子育て支援は考えていない。

ハチペイについて

問 今後の機能改善、機能追加をどう検討しているのか。

区長 返金の処理は改善し、機能追加について検討する。

デジタルデバイド解消事業

問 貸与期間終了後、契約変更のサポートや、機器の無償又は低価格での譲渡の検討を。

区長 譲渡は考えていないが、一人一人丁寧にサポート。

建築工事規制について

問 法律や都条例でカバーしきれない部分は区で条例化を。

区長 条例追加の考えはない。近隣への影響には適切に対応。

女性の尊厳を守る施策について3点を伺う

立憲民主党
小田　浩美 議員

多様化するライフステージと女性の経済的自立

問 ホルモンバランスやライフステージに関する学習は。女性の経済的自立の重要性を義務教育で学ぶ機会を。

教育長 小中保健で学習。キャリア教育を特別活動で学習。

女性職員のキャリアアップ支援

問 ①昇格昇進の障害は。②勤務環境の整備内容は。③相談しやすい環境と体制整備を。

副区長 ①働き方を知る機会がない。②働く時間選択制導入の検討。③人事DXを推進。

性犯罪・性暴力被害の対策

問 ①SNSやネット被害防止のための専門チーム設置を。②支援体制の積極的周知を。

教育長 ①関係諸機関と対策を考えていくことを検討。②相談窓口一覧を全校通知済み。

渋谷区で相次ぐトラブル、なぜ区長は責任を認めないのか

れいわ渋谷
金子　快之 議員

区役所の業者イジメはやめて

問 ①カメリア会へ立入調査について法人は虐待を否定、「調査は違法」「嫌がらせはやめて」と訴えている。②区長が法人の湖山代表を呼び圧力を掛けた。パワハラは事実か。③その後の契約打切りは区長の報復か。④別施設でも業者イジメの苦情が届いた。

区長 ①適正と認識。②高圧的ではない。③事実はないと記憶。④事実でない。

今度は「給付金詐欺」で逮捕

問 ①女性暴行に続き、詐欺で職員逮捕。茶髪で見掛けも

異常。身だしなみから正すべき。区長就任以来の逮捕者は。②大麻、飲酒あおり運転と職員の犯罪が続く。白昼堂々庁舎を抜け出しサボりも目立つ。区長は会見を開き謝罪すべき。

区長　①職員逮捕が計4件。②コメントにて発信。

また監査委員に叱られた区長

問　①「職員が法令・事務規則を理解していない」と監査委員が厳しく叱責。区長の反省は。②学校の避難誘導灯が逆さまで危険だ。③監査が甘くＰＤＣＡが回っていない。

区長　①職員研修を実施する。

教育長　②改修準備を進める。

代表監査委員　③改善を徹底。

認可保育園、障がい者グループホームの増設等を求む

日本共産党
五十嵐千代子　議員

保育について

問　①認可保育園の増設を。②保育士配置基準と面積基準の見直しを国と都に求め、区独自の改善も。③保育施設送迎時の子どもの安全対策を。④園庭代わりの公園に子ども用トイレの設置と安全点検を。

区長　①７年度まで各年度１園の開設を予定。②国と都に求める考えも、区独自の考えもない。③保護者に安全対策を周知、交通安全教室等で園児にも伝える。④公園管理は必要に応じて適切に対応する。

障がい者施策について

問　①国連の勧告を障がい者計画にいかすべき。②グループホームと入所施設の増設を。

区長　①国の動向を注視。②グループホームの整備や設置事業者への助成を行っている。

ジェンダー平等について

問　①女子差別撤廃条約選択議定書批准は必要、認識は。②学校でＬＧＢＴＱの配慮は。

区長　①条約の趣旨は尊重。

教育長　②多機能トイレ設置や標準服選択など、多様性を伸ばす学校づくりを推進する。

感染症対策やワクチン助成、ＰＴＡ支援等の区政課題

鈴木　建邦　議員

区政課題について

問　①長期的に感染症に強いまちづくりを。②帯状疱疹ワクチンの啓発と助成を。③ＨＰＶワクチンの男性接種に助成を。④渋谷区新たな地域活性化のための条例に基づきＰＴＡに支援を。⑤タブレットを充電しながら使えるように専科含む教室に追加の充電器等を。⑥国際的に求められるＤＥＩ※を盛り込み更新して、進化する基本構想に。⑦今の時代は意思決定から実行までの速さが問われているが、区はどんな取組を行っているか。

区長　①疫学調査を実施。緊急の臨時接種に対応できる体制を整えている。②効果や集団発生の抑制が不明確、今後研究。③公的接種の男性拡大は国の検討課題。議論を踏まえ検討。④ＰＴＡ活動の周知は、条例の趣旨を踏まえ取り組む。法律相談体制は、今年度からスクールロイヤー制度を導入し相談や助言を受けられる。活動経費の助成は、必要な支援を引き続き検討。⑥ＤＥＩは、障害を取り除き、誰もが活躍できる環境の提供が重要であると認識。エクイティの考えを尊重し様々な施策に取り組む。⑦ＩＣＴ基盤を刷新して以降、業務のデジタル化を進め、情報共有のスピード向上や文書管理システム導入による意思決定の迅速化を図っている。決定後の予算化は補正予算を従来よりも活用し社会変化に迅速に対応。

教育長　⑤今年度中に、各教室に一定数のモバイルバッテリーを追加で配備する。

用語解説　※ＤＥＩ＝ダイバーシティ＆インクルージョンから発展し、「公正さ」や「公平性」を表す（Ｅ）エクイティの考え方を明確にした言葉。

本会議のインターネット録画映像

定例会・臨時会の録画映像を専用サイトに掲載しています（「渋谷区議会　議会中継」でウェブ検索）。本会議開催のおおむね１週間後から映像配信します。

QRコード▶

総務大臣から感謝状を贈呈

木村正義議員は、永きにわたり区議会議員として地方自治の振興発展に寄与され住民福祉の向上に尽くされた功績を多とされ、令和４年10月24日、総務大臣から感謝状を贈呈されました。

議会情報公開・個人情報保護実施状況

情報公開関係（令和４年10月１日～ 11月30日）

請求件数	１件
文書件数	２件
公開件数	２件
非公開件数（不存在）	０件

個人情報保護関係（令和４年10月１日～ 11月30日）

請求件数	０件

常任委員会委員一覧

（◎委員長／○副委員長）　令和４年12月１日現在

総務委員会	区民環境委員会	文教委員会	福祉保健委員会
◎斉藤 貴之	◎田中 匠身	◎一柳 直宏	◎沢島 英隆
○栗谷 順彦	○吉田 佳代子	○神薗 麻智子	○岡 美千瑠
中村 豪志	松本 翔	治田 学	鈴木 建邦
小田 浩美	橋本 侑樹	堀切 稔仁	松山 克幸
金子 快之	近藤 順子	久永 薫	森田 由紀
下嶋 倫朗	須田 賢	丸山 高司	斎藤 竜一
薬丸 義人	牛尾 真己	伊藤 毅志	佐藤 真理
田中 正也	木村 正義	苫 孝二	五十嵐 千代子
岡田 麻理			

議会運営委員会委員一覧

（◎委員長／○副委員長）
令和４年12月１日現在

◎丸山 高司
○岡田 麻理
斉藤 貴之
一柳 直宏
近藤 順子
田中 匠身
治田 学
下嶋 倫朗
久永 薫
沢島 英隆
田中 正也
木村 正義
五十嵐 千代子

特別委員会委員一覧

（◎委員長／○副委員長）　令和４年12月１日現在

自治権確立特別委員会

◎五十嵐 千代子	須田 賢
○久永 薫	斎藤 竜一
岡 美千瑠	佐藤 真理
橋本 侑樹	吉田 佳代子

交通・公有地問題特別委員会

◎木村 正義	治田 学
○牛尾 真己	堀切 稔仁
一柳 直宏	薬丸 義人
森田 由紀	栗谷 順彦

多様性社会推進特別委員会

◎近藤 順子	松山 克幸
○松本 翔	田中 正也
神薗 麻智子	岡田 麻理
斉藤 貴之	

官民連携事業調査特別委員会

◎下嶋 倫朗	鈴木 建邦
○伊藤 毅志	田中 匠身
中村 豪志	沢島 英隆
小田 浩美	丸山 高司
金子 快之	苫 孝二

＊質問・答弁は要旨を掲載しています。
詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録（２月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

委員会の活動状況

令和4年10月12日～令和4年12月7日

常任委員会

総務委員会

▼渋谷区制施行90周年記念デジタルアーカイブについて報告を受け、地域の写真を検索しやすく工夫するなど、皆に親しんでもらえるアーカイブとするよう求めました。

▼令和4年給与勧告等の状況について報告を受け、障がい者の採用選考制度見直しに関して、特別区における雇用目標率について達成するよう要望しました。

▼一般会計補正予算の審査を行いました。主なものとして、本庁舎、区民施設、福祉施設、及び小中学校などにおける燃料費高騰等に伴う光熱費不足分対応、感染症予防事業として新型コロナウイルス感染症患者の入院時の医療費公費負担などの質疑を行いました。

▼ケアコミュニティ・原宿の丘の建て替え計画について報告を受けました。

▷渋谷区制施行90周年記念デジタルアーカイブトップ画面

区民環境委員会

▼東京都市計画道路補助第50号線の変更（一部区間の廃止）について報告を受けました。都市計画道路としての必要性を再検証した結果、桜丘町～鉢山町区間の計画を廃止する素案がまとまりました。周辺住民等へ丁寧な説明を行うよう要望しました。

▼スタートアップ支援事業の進捗について報告を受けました。本事業は、成長が期待できる企業を支援し、実証の場を提供する等、社会課題の解決につなげるものです。区民の生活や便益の向上を目指すよう求めました。

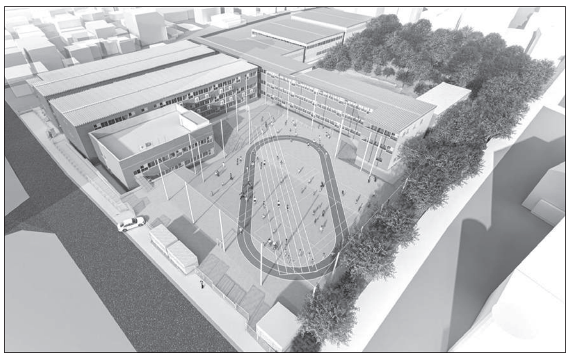
▼原油価格や物価の高騰に対する中小企業向け融資について報告を受けました。無利子融資あっせんにより中小企業を支援する新たなメニューであり、時宜を得た施策として速やかな運用を要望しました。

文教委員会

▼令和4年度渋谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について報告を受けました。シブヤ科を含む探究的な学びは、子どもたちにとり大変重要であるので今後とも推進していくよう求めました。

▼区立中学校希望校調査書の集計結果について報告を受けました。各校の魅力や特色を学校合同説明会等により周知徹底し、希望する生徒は全員入学できるよう要望しました。

▼青山病院跡地仮設校舎（仮称）について報告を受けました。複数の学校が同じ場所で学ぶ貴重な機会となるので、合同での行事を実施するなど利点を最大限にいかしてほしい、防災拠点としての仮設校舎活用や建替工事中の学校の地域防災機能については十分に検討するよう要望しました。



◁青山病院跡地仮設校舎（仮称）外観イメージパース（案）

福祉保健委員会

▼特別養護老人ホーム入所希望者数について報告を受けました。区内の各施設別の入所者数と入所ポイント数の最高点と最低点、入所者の介護度別人数の報告の中で、入所までの待機期間が平均1年ほどであること等を確認しました。

▼渋谷区自立支援協議会の開催状況について報告を受けました。都立光明学園の施設見学会には区職員も参加しており、学んだものを区の施策にいかすよう要望しました。

▼認知症なっても展の開催状況について報告を受けました。講演会や映画上映、展示ブース内のVR体験、写真展等は、どれもよい企画であり、認知症を知り理解する機会となることから、普及と啓発のためにも各地域での開催やアーカイブ化等を検討するよう要望しました。

議会運営委員会

▼11月22日、第4回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、渋谷区個人情報の保護に関する法律施行条例及び渋谷区千駄ヶ谷区民施設条例の制定など条例5件、一般会計補正予算1件、渋谷区立二の平渋谷荘の指定管理者の指定についてなど指定管理者の指定2件、報告1件、また、追加議案として職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例7件、渋谷本町学園第二グラウンド複合施設（仮称）建設建築工事請負契約など契約4件、一般会計補正予算1件を提出するとの説明がありました。

▼当委員会では、定例会の会期及び日程について協議し、会期を12月7日までの16日間とすることを決定しました。

特別委員会

自治権確立特別委員会

▼明星大学人文学部教授の川松亮氏を講師に迎え、「児童相談所の支援を求める子どもたちの実態と23区に設置する役割と課題について」をテーマに研究会を開催しました。虐待の予防や対応には、重層的支援体制の整備が重要であることを確認しました。

▼児童養護施設の広尾フレンズと若草寮の職員を迎え、児童養護施設の現状と課題について懇談会を行いました。職員が子どもや親などに対応する際の配慮や施設の課題等について意見交換を行いました。

▼荒川区子ども家庭総合センターを視察しました。児童相談所設置の職員体制の準備、設置後の区の関係所管や医療・警察・消防等関係機関との連携、里親の取組、ヤングケアラーへの対応について説明を受け、参考になりました。

交通・公有地問題特別委員会

▼11月9日に「区内の交通問題に係る懇談会」を渋谷・原宿・代々木の3警察署及び各交通安全協会関係者を招いて開催しました。まず警察側から、秋の交通安全運動期間中における各警察署の交通事故発生状況と取組について、報告を受けました。区内での死亡・重傷事故は無かったものの、過去3年の平均を上回る軽傷事故が発生したとの説明がありました。次に各委員から、日頃、各地域の住民から寄せられている電動キックボード問題、横断歩道の増設、路面標示の設置等に関する要望を伝え、対応策などについて、質疑と意見交換が行われました。今後も委員会として、交通安全に関する問題について、3警察署・協会と協力して対応していくことを確認しました。

多様性社会推進特別委員会

▼10月17日、三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱の岩名礼介氏を講師に迎え、「重層的支援体制整備事業の誤った認識と目指す姿について」をテーマに研究会を開催しました。支援者が無理なく利用者を支援するための体制づくりであることや伴走し続けることで一人にしない仕組みとすること等、改めてこの事業への認識を深めました。

▼「第45回渋谷区くみんの広場」に参加しました。委員会活動の写真掲示やリーフレットでの視察先の紹介、アンケート調査の実施により、多様性社会の推進について発信をしました。

▼マザーズハローワーク東京を視察しました。チャイルドコーナーの設置等、家庭環境に応じたきめ細かい丁寧な支援が参考になりました。

官民連携事業調査特別委員会

▼令和4年11月15日に松濤美術館を視察し、新たに館長に就任した石岡怜子館長、飯田高誉副館長、学芸員の方々と懇談を行いました。デザインの世界でも活躍されている石岡館長からは、区立の松濤美術館について「小規模な美術館であるからこそ思い切った企画ができる、観る人の心を動かす展覧会を開催すればお客様が来てくれるという手応えを感じている。引き続きアートの面白さや魅力を伝えていきたい。また、情報化社会の中で生きる現代の子どもたちにはアートから創造力を養ってほしい。」などを伺いました。委員からは、民間の発想での今後の企画に期待する、小中学生の絵画展などこれまで培ってきた伝統的な展示も引き続き大事にしていってほしい等の要望が出されました。

▷松濤美術館を視察・懇談

しぶや区議会だよりは各戸配布のほか、区施設、区内の駅などにあります。

構成人数が
3人以上の会派

新春を迎えての各会派の抱負

渋谷区議会自由民主党議員団

「安心して住み続けられるまち渋谷」構築のため 区政の諸課題に今年も全力で取り組みます

あけましておめでとうございます。昨年も区民の皆様から絶大なるご支持、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

４年目を迎えてもなお新型コロナウイルスの終息が見られない中でも、区政の重要課題である感染症対策として、ワクチンのブースター接種の円滑な実施や子育て世帯生活支援、区立学校等をはじめとする公共施設の整備への着手、各種の産業振興並びに地域活性化事業等、国や東京都と連携した様々な助成や区独自の対策を行って参りました。

福祉では８０５０問題やひきこもり、ヤングケアラーなどの悩みや課題解決のため、重層的支援整備事業を区政の最優先施策と位置づけ取り組んでいます。子育て支援では待機児童ゼロの継続に加え、希望に沿った入園調整の実現、非来庁でのオンライン入園申込の実施など利用者の利便性向上に努めて参ります。また渋谷区子育てネウボラに東京都児童相談センターのサテライトオフィスを設置し、児童虐待防止と予防強化を図る体制を整えています。教育では、多様な学習空間やゆとりある生活空間を設けた未来の学校施設建設に向け、個々の学校の基本計画作成に着手しました。

自由民主党議員団は、引き続き万全な感染症対策と安心して暮らせる渋谷の構築に、今年も全力で取り組んで参ります。

シブヤを笑顔にする会

飛躍の年へ 区民のみなさまの笑顔づくりに全力投球

あけましておめでとうございます。「シブヤを笑顔にする会」は、無所属の議員8名で活動しております。

渋谷区は区制施行90周年を迎えました。これまで渋谷区の発展にご尽力いただいた先人に心から敬意を表します。

昨年は、デジタル地域通貨「ハチペイ」や施設検索や予約などを一括で行える新施設予約システムの導入、子育て手続きの電子化、教育データ活用などのDX推進、今後20年間で計22の小中学校を建て替える「新しい学校づくり」整備方針を発表、シブヤ若者気候変動会議の実施、落書き対策の強化、ロードレースやフェスなど北渋地域の魅力を創造、区民サービスや暮らし、教育の質の向上、持続可能なコミュニティづくりのための政策を実現して参りました。

本年は一人も取り残さない福祉の枠組み「重層的支援体制」の始動や、西参道高架下施設「駒テラス西参道」のオープン、来年度には千駄ヶ谷複合区民施設の竣工など、新たなコミュニティ空間の創出が予定されています。

渋谷区議会は4月に改選期を迎えます。シブヤを笑顔にする会は、長谷部区長と共に誰もが多様な選択肢を持てる社会の実現に向けて、全力で活動して参ります。区民の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

渋谷区議会公明党

一人も取り残さない支援体制の推進に努め、更なる 区民福祉・区民サービスに邁進します

新年明けましておめでとうございます。

昨年も皆様よりあたたかいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

我が会派は引き続き新型コロナワクチンの迅速な接種体制の強化、子育て支援、重層的支援体制の創設、また物価高騰対策など、区長に緊急要望を行い、コロナ禍であっても区民福祉・区民サービスを停滞させることなく、一層充実をすすめて参りました。

子育て支援では都議会公明党の提案を受け、子どもの医療費無償化を現行の15歳から18歳まで拡大を決定。また2002年より我が会派で提案をし続けてきた不妊治療助成について、所得制限なしで保険適用に対応した区独自の助成制度も本年１月より申請が開始されます。更に物価高騰対策として、昨年11月にスタートした渋谷区独自のデジタル地域通貨「ハチペイ」にプレミアム付きデジタル商品券（最大２万円購入で１万円割増）も公明党の推進が実りました。物価高騰で苦しい家計を助ける政策の一つとして、区民の皆様も喜ばれています。

これからも公明党は「ひとりの声を大切に」更なる区民サービスの充実に努め、皆様の声を区政に反映して参ります。

日本共産党渋谷区議会議員団

物価高騰から区民のくらしと営業を守り、福祉・教育優先、住民が主人公の区政にするために全力

新年あけましておめでとうございます。

日本共産党区議団は昨年、物価高騰やコロナ禍から区民のいのちとくらし、営業を守るために全力を尽くしました。区民と力を合わせて、４月から子ども医療費の高校生までの無料化を実現しました。

長谷部区政は、物価高騰に苦しむ区民や中小業者への区独自支援は行なわず、国民健康保険料を19年連続で値上げしようとしています。渋谷図書館に続き本町幼稚園の廃園を発表し、さらに少人数学級に背を向けて学校統廃合を計画しています。一方、大企業のために、渋谷駅周辺再開発に83億円の区税を投入、路上生活者を強制排除して美竹公園などを提供しようとしています。

党区議団は、自治体本来の役割である福祉を増進させ、国保料の引下げ、学校給食無償化の実施、認可保育園や特別養護老人ホームの待機児・者ゼロ、高齢者・障がい者福祉の充実、ケア労働者の処遇改善、商店街・中小企業支援の強化など、1,282億円の基金を使って、くらし、福祉、教育、子育て応援、住民が主人公の区政実現に全力をあげます。

また、平和とくらしを守るために大軍拡と９条改憲阻止、最低賃金の引上げ、消費税減税の実現に力を尽くします。

議員の年賀状等は廃止しています

渋谷区議会では、「虚礼等廃止に関する決議」を行い、区議会議員の年賀状・寒中見舞いなどの挨拶状は廃止しております。この紙面を借りて、ご挨拶に代えさせていただきます。

区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次回定例会のお知らせ

●令和５年第１回定例会は、２月21日から開かれる予定です。

主に、令和５年度各会計予算が審議されます。

本会議は、初日と２日目、３日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

立憲民主党渋谷

経済支援、子育て・教育施策、高齢者福祉の充実等、 区民生活向上のため、地に足のついた区政運営を求む

あけましておめでとうございます。

私たち立憲民主党渋谷は、区民の皆さまの生活を向上させるべく、昨年も議会に臨んでまいりました。

現在、２期８年を終えようとする長谷部区政においては、詳細な収支報告の義務がない外郭団体が展開する事業など、目新しいものばかり注目されがちですが、いわゆるＰＤＣＡサイクルにおける、「ＰＬＡＮ」と「ＤＯ」ばかりで、「ＣＨＥＣＫ」が十分になされているとは言えません。また、渋谷図書館の廃止や新しい学校づくり整備方針など、区民の声に耳を傾けることなく進められる事業が散見されます。

区政の一翼を担う区議会の重要な役割の一つが行政のチェックです。私たち立憲民主党渋谷は昨秋の決算議会で、これまでも指摘してきたにもかかわらず改善が見られない事業やそもそも目的が明確でない事業、また透明性の低い組織や費用対効果が低い事業などについて、厳しく指摘をしました。

今後も、皆さまに納めて頂いた税金が適正に使われているのかチェックしつつ、コロナ禍において生活が苦しくなった方々への支援や、子育て・教育分野の充実、また高齢者福祉の増進など、本当に必要なところに充てられるよう、地に足のついた区政運営がなされるよう、強く求めてまいります。

編集後記

あけまして おめでとう ございます

今回は、第４回定例会の内容を中心に掲載しました。
今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。
本年もよろしくお願いいたします。

■区議会事務局調査係
ＴＥＬ　03-3463-1096
ＦＡＸ　03-5458-4939
メールアドレス
div-kugikai@shibuya.tokyo

©SHIBUYA CITY